



TITLE:

近畿地区国公立大学図書館協議会

AUTHOR(S):

CITATION:

近畿地区国公立大学図書館協議会. 静脩 1974, 11(1): 6-6

ISSUE DATE:

1974-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36724>

RIGHT:

再三遭遇するので、作業ははかばかしくは進まない。目下全量の4分の1といったところであらうか。

再調査にあたっては、各所蔵部局図書室の

協力をいただき、厚くお礼申し上げると同時に、今後とも惜しめないご協力をお願いする次第です。(洋書目録掛)

京都大学和文雑誌総合目録の編集作業

本学所蔵の雑誌総合目録の一環として、本年度は和文雑誌総合目録を刊行することとなった。これはさきに刊行された1967年版ならびに補遺の改訂版である。

旧版刊行後の異動と新規架蔵雑誌について5月以来各部局図書室に、昭和49年3月31日現在で調査をお願いしていたが、このほど

報告の提出が完了した。予想以上に異動訂正や新規雑誌が多く、編集にかなりの時間がかかりそうであるが、11月印刷に付すことを目標にして目下編集に努力している。編集、印刷、校正などが順調に進行すれば、来春3月には刊行される予定である。

近畿地区国公立大学図書館協議会

1. 研究集会活動

8月26日(月)午後1時30分より、新築成った京都府立大図書館を会場にして、本年度第1回の施設に関する研究集会を開催した。京都府大図書館の設計は、いわゆるモデュラ・プランニングを基本としており、その点で、将来における内部空間の互換性が考慮されていることと、身障者に対する細かい配慮が、とくに興味深い。当日は80名近い参加者があり、本学からも21名の参加者があった。

9月6日(金)午後1時30分より、楽友会館で、「アメリカの大学図書館における相互協力について」と題して、大阪大学図書館田中久文氏の在外研修報告を中心とした研究集会を開催した。2時間にわたって、田中氏よりアメリカの最新の実情について報告があつ

た後、大阪府大堀事務長の司会により質疑討論を行なった。約60名の出席があり、本学からの出席者は26名であった。

2. 委員会活動

企画委員会は、9月6日(金)10時半から、楽友会館で本年度第2回目の会合を開き、今後の研究集会計画について検討した。その結果、10月18日(金)には、主題別研究集会の本年度の第1回として、「理工系図書館における図書館資料の収集ならびに保存」について、京都芸芸繊維大学で開催する。11月には、施設研究集会の第2回目を兵庫県立図書館で開催することになった。

また、参考図書委員会は8月28日(水)に大阪女子大で、図書館統計委は9月3日(火)に和歌山大学で、それぞれ開催された。